

## 第2学年生活科学学習指導案

日 時：平成24年9月28日（金）3校時

学 級：男子13名 女子8名 計21名

授業者：角館 絵美

### 1 単元名 もっとなかよしまちたんけん（東京書籍P67～76）

### 2 単元について

#### （1）教材について

本単元は、学習指導要領の内容（3）「自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。」、（8）「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。」に基づいて構成している。

本単元は、1学期の単元「どきどきわくわくまちたんけん」につながる単元であり、再度まち探検に出かけ、地域の人々や場所とかかわる活動を中心に学習を進めていく。1学期に出会った地域の人々や場所とのかかわりを深めたり、新たな場所や人々との出会いでかかわりを広げたりする中で、地域のよさに気付き、自分たちが生活している地域の人や場所への愛着を深めることをねらいとしている。また、学習活動を通して地域の人々と適切に接したり、地域で安全に楽しく生活したりしようとする態度を育てることもねらいの一つとしている。

#### （2）児童について

児童は、生活科の学習に興味をもって意欲的に取り組んでいる。1学期のまち探検では、グループ毎に行ってみたい場所や会ってみたい人などを決めて探検し、地域の場所や人の様子について学んだ。普段行っている場所や会ったことのある人でも、詳しく観察したり質問したりすることで新たな気付きが多くあった。この学習を通して、地域にはさまざまな場所があり、自分たちの生活とかかわっていることに気付くことができた。また、「次は〇〇へ行ってみたい。」というように、地域への興味・関心も高まっていると言える。

しかし、地域の「人」より商店などの「場所」への興味・関心が高く、地域で生活したり働いたりしている人にはあまり目が向いていない。また、探検が「楽しかった。」だけで終わったり、自分が行った場所や会った人のことだけで完結していたりと気付きが十分に広がったり深まったりしていない様子も見られる。

#### （3）指導にあたって

本単元の指導にあたっては、次の点に留意しながら進めていく。

一つ目は、地域の場所だけではなく、生活したり働いたりしている人にも焦点を当てることである。今回のまち探検の計画段階でも、児童から商店などの場所についての発言が多く出てくると予想される。その場合には、教科書の絵に注目させたり、その場所を利用する人やそこで働く

人の様子について気付かせたり考えさせたりするような言葉がけや発問をすることで、児童の意識を人とのかかわりに向けさせるようにしていく。そうすることで、地域の場所だけではなく、人のよさにも気付くことができるようにする。

二つ目は、児童の気付きを全体に広めたり、気付きの質を高めたりすることである。そのために、探検に行く際は質問を準備するなど児童が視点をもって行くようにさせる。また、1度目の探検後のふり返りでは、地域の人々の思いや工夫について考えさせるような言葉がけを行い、新たな視点をもって再度探検に出かけるようにさせる。さらに、単元の最後にまち探検のことについて伝え合う活動を行い、それをいろいろな形で表現させることでその質を高めたり、一人一人の気付きを共有することで気付きを広げたり高めたりすることができるようにする。

これらの点に留意することによって、地域のよさに気付き、地域の人々や場所への愛着を深め、人々と適切に接したり安全に生活したりする児童を育てることができると思う。

### 3 単元の目標と評価規準

地域で生活したり働いたりしている人々と交流する活動を通して、自分の生活が地域の人々や場所とかかわっていることや地域のよさに気付き、地域への愛着を深めるとともに、地域の人々と適切に接したり地域で安全に楽しく生活したりすることができるようにする。

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
地域で生活したり働いたりしている人々と進んで交流したり適切に接したりしようとしている。	地域で生活したり働いたりしている人々や場所と自分とのかかわりや地域のよさについて考え、それを自分なりの方法で工夫して表現している。	自分たちの生活は、地域で生活したり働いたりしている人々や場所とかかわりをもっていることが分かり、地域のよさに気付いている。

### 4 単元の指導・評価計画（12時間扱い）

※「キャリア」の欄は「勤労観・職業観」「豊かな人間性」に関わる項目があれば記載

小単元名 (時数)	目 標	評価規準	関	思	気	キャリア
まちたんけんの計画を立てよう (3)	○1学期のまち探検や夏休みに地域でかかわった人や体験したことを伝え合う中で、もう一度まち探検に出かけたいという思いをもつことができる。	・これまでにかかわった人や場所について進んで話したり、聞いたりしようとしている。	○			
	○会ってみたい人を決め、探検の計画を立てることができる。	・相手や場に応じた行動について考え、活動の計画を立てて準備をしている。			○	

まちの人に会いに行こう (3)	○まち探検で地域の人とかかわる中で、地域で生活したり働いたりしている人々や場所が自分の生活にかかわっていることに気付き、さらに地域の人とかかわりたいという思いをもつことができる。	・地域の人や場所に進んでかかわろうとしている。 ・地域の人との適切な接し方を考えている。 ・地域で生活したり働いたりしている人々や場所が、自分の生活にかかわっていることに気付いている。	○	○	○	勤
もっとまちの人となかよくなる (3)	○再度探検に行き、地域の人と繰り返しかかわる中で、地域への思いや仕事の工夫に気付き、自分たちの地域にいる人々や場所に親しみをもつことができる。	・探検でかかわった地域の人々や場所ともっと親しくなるために進んでかかわろうとしている。 ・地域の人と自分の生活とのかかわりについて考えている。 ・地域で生活したり働いたりしている人の地域への思いや仕事の工夫に気付いている。	○	○	○	勤
なかよくなった人のことをしょうかいしよう (3) 本時(3/3)	○地域でなかよくなった人のことを伝え合う活動を通して、自分たちの地域によさに気付くことができる。	・探検でかかわった地域の人々のことをふり返り、自分なりの方法で表し、友達に伝えている。 ・自分たちの地域によさに気付いている。		○	○	勤
まちでさがそう (時間外)	○地域の施設の工夫やマークなどを探す活動を通して、みんなが使いやすくするための工夫やその大切さに気付くことができる。	・地域にはさまざまな人々が生活していることに気付くとともに、みんなが暮らしやすくするための工夫があることに気付いている。			○	

## 5 本時の指導

### (1) 目標

地域でなかよくなった人を伝え合う活動を通して、自分たちの地域によさに気付くことができる。【気付き】

### (2) 評価規準と手立て

	満足できる	「満足できる」に満たない児童への手立て
気付き	自分たちの地域によさに気付くことができる。	教師と共に発表をふり返りながら、地域によさに気付けるようにする。

### (3) キャリアの視点

キャリアの力 : ◎人生設計力 ○勤労観・職業観

「身近で働く人々の様子について興味・関心をもつ。」

キャリアのねらい: 仲良くなった地域の人を紹介し合う活動を通して、地域で働く人々の様子に興味・関心をもつ。

本時の指導では、まち探検で仲良くなった人を紹介し合う活動を行い、自分たちの地域には様々な仕事をしている人がいることに気付かせ、働く人々の様子や思い、仕事の工夫などに興味・関心をもつことで地域への愛着を深めたり、自己の将来や職業について考えたりするきっかけの一助とし、キャリアの力を育成したい。

### (4) 展開

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
			キャリアとの関連 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価</span>
導入 5分	1 本時の課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">まちのすてきな人をしょうかいし合おう。</div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習を振り返り、本時では、友達の発表を聞いてまちの「すてき」をさらに発見していくことを確認する。</li> </ul>
	○すてきな人はどんな人ですか。 2 発表会の進め方について確認する。 ○発表会の進め方を確かめましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一生懸命な人</li> <li>・優しい人</li> <li>・まちのことを考えている人</li> <li>・がんばっている人</li> </ul>	
展開 30分	3 発表会を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             ① 発表              ② 質問や感想              ③ メモ           </div> <発表グループ> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はまゆり子ども園</li> <li>・松葉時計店</li> <li>・給食センター</li> <li>・銭袋床屋さん</li> <li>・金子美枝さん</li> <li>・古馬ヤエ子さん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探検に行ったグループ毎に発表する。</li> <li>・他のグループの発表を聞きながら、すてきだと思った人をメモしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の発表を聞くときには観点を与え、ワークシートに書き込みながら聞くようにさせる。</li> <li>・児童が発表した地域のよさを「ふだいのすてきマップ」にまとめる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;">           キャリアとの関連            働いている人についての発表を聞き、いろいろな場所で働いている人がいることに気付いたり、働く様子に興味・関心をもったりする。         </div>

ま と め  10 分	4 友達の発表を聞いて分かった地域の「すてきな人」を発表する。 ○友達の発表を聞いて、すてきだと思った人とそのわけを発表しましょう。	・私は、宇部さんがすてきだと思いました。どうしてかと言うと、子ども達のことを一生懸命考えて献立を作っているからです。 ・ぼくは、古馬さんがすてきだと思いました。どうしてかと言うと、普代をきれいにするためにお花をたくさん育てているからです。	・全ての発表を聞き、その中で自分が最もすてきだと思った人を選び、そのわけをワークシートに記入させ、発表させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>【気付き】</b>自分たちの地域のよさに気付いている。            (ワークシート・発言)         </div> ・児童が発表したわけの部分を取り上げ、地域のよさについての気付きを共有できるようにする。
	5 完成した地図を見合い、感想を発表する。 ○「まちのすてきマップ」を見て思ったことや気付いたことを発表しましょう。	・普代にはすてきな人がたくさんいていいなあと思いました。 ・もっとすてきな人や場所を見つけたいです。	・完成した地図を見合い、感想や気付いたことを発表させることで、さらに地域のよさに気付き、地域への愛着をもてるようにする。 ・1学期の探検と比べさせ、地域の人とのかかわりが深まっていることにも気付かせる。

#### (5) 板書計画

